

パワーエレクトロニクス開発における シミュレーション活用（第4回）

2022年 10月 24日（月） 14:00～15:45
オンライン開催（Zoomウェビナー）

申込締め切り：10/23

◆第4回「パワエレの高周波駆動技術（仮題）」

○ アイデアからFPGA実装まで一気通貫を実現するモデル
ベースデザイン

松本 充史 / MathWorks Japan

○ SiC MOSFETのスイッチング波形を精度よく
シミュレーション再現する手法（仮題）

村田 信 / ローム株式会社

GaNコンソーシアムは、産学官の共創場での実践的教育を通して、高い専門性と俯瞰的な視点を兼備し、社会のための科学（Science for Society）を志向する、21世紀型の若手研究者・技術者の育成に努めることにしています。これを踏まえて、我が国のGaN研究開発の将来を担う優秀な人材を育成するため、毎年サマースクールを開講しています。

更に2021年度から新しい取り組みとして、名古屋大学・古橋名誉教授による実習形式のパワーエレクトロニクス講習会を実施しています。この度、「パワーエレクトロニクス開発におけるシミュレーション活用の最新動向」について定期講習会を開催いたします。また、毎回アンケートを実施し、参加者の皆様のご要望を反映した内容を企画いたします。ご興味ございましたら、参加登録をお願い致します。

タイムスケジュールと申込み方法は、次ページをご覧ください。

講演プログラム

14:00~15:00	「アイデアからFPGA実装まで一気通貫を実現するモデルベースデザイン」 nsオーダーの高速処理が可能なデバイスFPGAは、従来のHDLコードを記述して設計を行うと大変な苦勞を伴います。モデルベースデザイン手法により、パワエレ回路のシミュレーションを行ったモデルからコード生成を行い、コントローラ部をFPGAに実装する手法についてご紹介します。	松本充史 MathWorks Japan
15:00~15:45	「SiC MOSFETのスイッチング波形を精度よくシミュレーション再現する手法（仮題）」 ・デバイスと評価基板のモデリング手法 ・シミュレーション精度に寄与する要素と課題	村田 信 ローム株式会社

ご案内

- ◇**参加対象者** パワーエレクトロニクス技術にご興味がある方
GaNコンソーシアムの会員である機関に所属する方
名古屋パワエレ塾会員
- ◇**定員** 先着500名
- ◇**申込〆切** 2022年10月23日（日）
※応募者が定員に達した段階で募集を締め切ります。
- ◇**参加費用** 無料
- ◇**次回以降スケジュール** 第5回（1月予定）

申込方法

募集メールに記載のリンク先からご登録下さい。
また、リンク先がご不明な場合は、下記事務局までご連絡お願い致します。

【申込み・問い合わせ先】
（一社）GaNコンソーシアム事務局
担当：牛田、鈴木、水野、藤本
E-MAIL info@gan-conso.jp
（電話 050-3625-7503）

- ◆第5回「(仮題)電源開発への実用例」
 - ・電源開発の実用例
 - ・USB電源の分解報告